

DISABILITIES OF THE ARM, SHOULDER AND HAND

22. 腕・肩・手の障害が、家族、友人、隣人、あるいは仲間との正常な社会生活をどの程度妨げましたか

1：まったくなかった 2：ややあった 3：中等度あった 4：かなりあった 5：極度にあった

23. 腕・肩・手の障害によって先週の仕事・日常生活に制限がありましたか

1：制限なし 2：やや制限 3：中等度制限 4：かなり制限 5：極度に制限

先週1週間の症状について、該当する番号を○で囲んで下さい。

24. 腕・肩・手に痛みがある

1：まったくなかった 2：ややあった 3：中等度あった 4：かなりあった 5：何もできないほど

25. 特定の運動をしたときに腕・肩・手に痛みがある

1：まったくなかった 2：ややあった 3：中等度あった 4：かなりあった 5：何もできないほど

26. 腕・肩・手がチクチク痛む(ピンや針を刺したような痛み)

1：まったくなかった 2：ややあった 3：中等度あった 4：かなりあった 5：何もできないほど

27. 腕・肩・手に力がはまらない

1：まったくなかった 2：ややあった 3：中等度あった 4：かなりあった 5：何もできないほど

28. 腕・肩・手にこわばり感がある

1：まったくなかった 2：ややあった 3：中等度あった 4：かなりあった 5：何もできないほど

29. 腕・肩・手の痛みによって眠れないときがありましたか

1：まったくなかった 2：ややあった 3：中等度あった 4：かなりあった 5：眠れないほど

30. 腕・肩・手の障害のために、自分の能力に自信がないとか、使いづらいと思っていますか

1：まったく思わない 2：あまり思わない 3：何とも言えない 4：そう思う 5：非常に思う

スポーツ / 芸術活動（選択項目）

楽器の演奏やスポーツをするにあたって、あなたの肩・腕・手の障害がどの程度影響しているか以下の質問に答えて下さい。もしあなたがひとつ以上のスポーツもしくは楽器演奏などを行っている場合は、あなたが最も重要だと考えている活動について答えて下さい。

その活動は： _____

私は楽器の演奏やスポーツをしません。（以下の1から4の質問には答える必要はありません）

先週1週間で、あなたの状態を最も示している番号を○で囲んで下さい。

なにか困難がありましたか？

1. スポーツ、もしくは楽器演奏においていつもの活動ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

2. 腕、肩、手の痛みのために活動がどの程度制限されましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

3. 自分の思うように活動ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

4. いつもと同じ時間でできましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

仕事（選択項目）

あなたの仕事（家事を含む）をするにあたって、あなたの腕・肩・手の障害がどの程度影響しているか以下の質問に答えて下さい。

あなたの仕事は： _____

私は働いていません。（以下の1から4の質問には答える必要はありません）

先週1週間で、あなたの状態を最も示している番号を○で囲んで下さい。

なにか困難がありましたか？

1. 仕事において、いつもの活動ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

2. 腕・肩・手の痛みのために仕事が制限されましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

3. 自分の思うように仕事ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

4. いつもと同じ時間仕事ができましたか

1：全く困難なし 2：やや困難 3：中等度困難 4：かなり困難 5：できなかった

DISABILITIES OF THE ARM, SHOULDER AND HAND

DASH

DASH の採点法

DASHは二構成になっています。機能障害/症状に関する質問（30項目の質問がありそれぞれ1－5点が当てられています）とスポーツ/芸術活動、仕事に関するものです（それぞれ4項目の質問があり各々に1－5点が当てられています）。

● Disability / symptom score（機能障害 / 症状 スコア）

計算するためには、30項目中少なくとも27項目に答えが得られる必要があります。全ての項目に答えが得られていれば、単純に合計し平均して、5点満点中の点数を出します。その値から1を引き25を掛けて、100点満点に換算します。点数が高ければ高いほどより障害が大きいことを示しています。

Disability / symptom scale（30項目）：

$$\text{DASH Disability / symptom score (DASH 機能障害 / 症状 スコア)} = \left(\frac{\text{加算点数}}{n} - 1 \right) \times 25$$

nは解答があった項目数

● 選択項目（スポーツ / 芸術活動、仕事）

それぞれ4項目からなりますが、質問の性質上、個人によってその選択は異なることがあります。この選択グループの目的は、プロの演奏家、プロスポーツ選手、仕事をする人達が、日常生活上では影響がなく、先のDASHの30項目ではあらわれないが、専門的な活動においてはどの程度の障害があるかを明確にすることです。

Sports / music or work optional module（4項目）：

$$\text{DASH optional component score (DASH 選択項目スコア)} = \left(\frac{\text{加算点数}}{4} - 1 \right) \times 25$$

● 回答がない項目の取り扱い

もし項目の10%以上（機能障害/症状に関する質問の3項目）に答えがない場合、DASH機能障害/症状スコアは計算できません。

これと同じ規則で（10%以上に答えがない場合）、選択グループのスポーツ/芸術活動、仕事スコアに関しても、それぞれ4項目しかありませんから、1項目でも答えがなければ使用できません。

DISABILITIES OF THE ARM, SHOULDER AND HAND

医師・作業療法士の方々へ：

1. この日本語版DASHは、米国での下記学会で公式に認められた『the DASH』を、日本手の外科学会機能評価委員会が日本の生活様式を反映させて改変し作製したものです。
2. この日本語版DASHは、AAOS（アメリカ整形外科学会）の認可を受けておりますので、学会発表および論文発表の際には、そのままThe JSSH Versionとして記載して使用できます。オリジナルの著作権はAAOSにあり、また日本語版DASHの著作権は日本手の外科学会にありますので、改変して使用することは許されません。
3. この日本語版DASHは、いわゆる能力低下（disability：日常生活における障害や環境との関わりによってとらえられる能力低下）を評価するものであり、機能障害（impairment：生物学的なレベルでの障害）や社会的不利（handicap）の評価とは異なります。
4. 上肢全体としての能力低下（disability）を評価しますので、左右や、障害部位に関係なく、その動作が可能であったかどうかを患者さんに記載してもらって下さい。
5. 先週1週間にその動作ができたかどうかを問われていますが、その動作を行わなかった場合は、もしその動作を行ったらどの程度できたかを想像して答えてもらって下さい。
6. この用紙は、<http://www.dash.iwh.on.ca/> よりダウンロードできます。

日本手の外科学会機能評価委員会作製

『DASH』 Original

The American Academy of Orthopaedic Surgeons

Institute for Work & Health, Toronto

American Association for Hand Surgery

American Society for Surgery of the Hand

American Orthopaedic Society for Sports Medicine

American Shoulder & Elbow Surgeons

Arthroscopic Association of North America

American Society of Plastic and Reconstructive Surgeons